

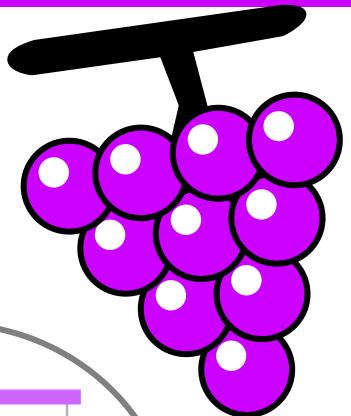
ABP フルーティア

グレープ味

養豚向け

プロバイオテクスの酪酸菌と甘酸っぱいフルーティーなぶどうかすにより豚の健康と嗜好性を高めます。

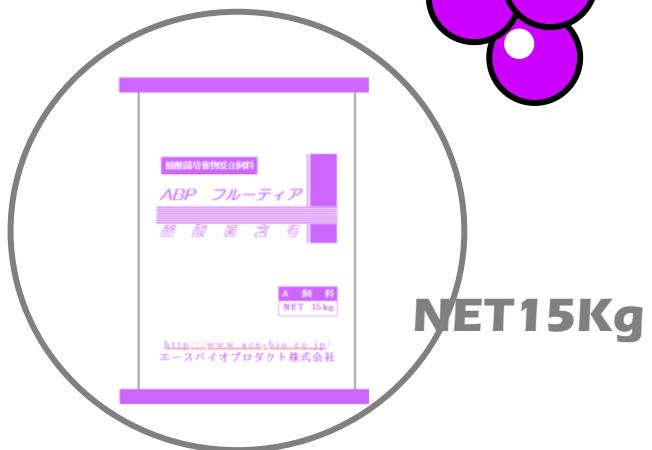
より高い生産性を実現する為に本品をご活用下さい。



賦形内容：ぶどう酒かす・酪酸菌（3千万個/g）

こんな方にお勧め

- ・飼料の嗜好性・食い込みを上げたい方
- ・畜種の腸内細菌叢をコントロールしたい方
- ・豚の健康増進を目指している方



NET 15kg

お勧め添加時期

餌付け時の食欲UP

夏バテ時の食欲UP

肥育豚

ほ乳期

0.05%

育成期（～60kg）

0.1%

肥育期

出荷

母豚

種付け

0.2%

分娩

産前産後の体調管理に

● 使用量

飼料に対し下記濃度になるよう本製品を調整してお使いください。

成豚:0.1～0.3% (1kg～3kg/飼料t) 子豚:0.05%～0.1% (0.5kg～1kg/飼料t)

お問い合わせ

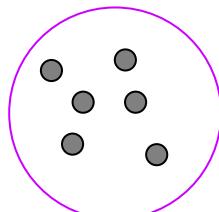
製造元:エースバイオプロダクト株式会社 〒386-0412 長野県上田市御嶽堂675-1
電話0268-41-1771 <http://www.ace-bio.co.jp>

酪酸菌(*C.butyricum*)とは

1935年に土壤並びに動物の糞中より抗腐敗性細菌として発見されて以来、人・動物のフローラ細菌として今日まで活用されている嫌気性グラム陽性の芽胞細菌です。

本製品中には発育増殖の過程で酪酸・酢酸・などの短鎖脂肪酸を产生する他、ビタミンB群やビタミンC、イソマルトースなどのオリゴ糖を代謝する事ができる株を使用しております。

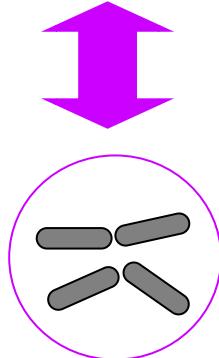
酵母菌、乳酸菌群との相性も良く、不良発酵の防止とフローラ維持に活躍する菌です。



芽胞体

植物に例えると種の状態で菌が休眠しています。この形態は熱・酸・紫外線等に非常に強く安定しています。

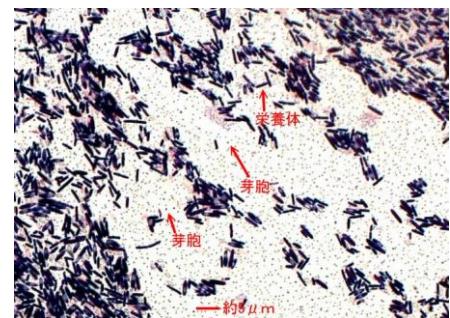
製品はこの状態でパッケージ化されています。



栄養体

温度(37°C)・栄養分・水分・pHなどの条件が整うと芽胞体から目覚め発芽します。

その際にビタミンB群やCオリゴ糖など各種有益な物質を產生しながら増殖を続けます。



[フローラとは]

胃や小腸は消化酵素を盛んに分泌しエサを分解、吸収する消化器官です。一方、大腸や牛の第1胃は様々な種類の細菌が数百兆個も棲みつき菌叢(フローラ…花畠)を形成している『発酵タンク』の役割を担っている重要な消化器官です。この菌叢をバランス良く保つ事が水分やミネラルの吸収、及び未消化飼料の分解や臭気の軽減につながります。

[大腸の役割]

水分やミネラルの吸収のほかにエネルギー源の吸収もあることが分かっています。大腸フローラの細菌が短鎖脂肪酸とよばれる有機酸をエネルギーに置換えます。

[フローラの異常は?]

離乳時や大量の食物がおなかに入ってきた時など腸内で急に乳酸が増加し、急激なpH低下がおこった時や抗菌剤を投与した場合等に起こりがちです。

製造元:

お問い合わせ先:

エースバイオプロダクト株式会社

〒386-0412

長野県上田市御嶽堂675-1

電話0268-41-1771

<http://www.ace-bio.co.jp>

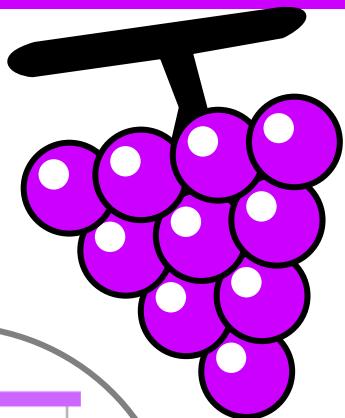
肉用牛

ABP フルーティア

グレープ味

A 飼料

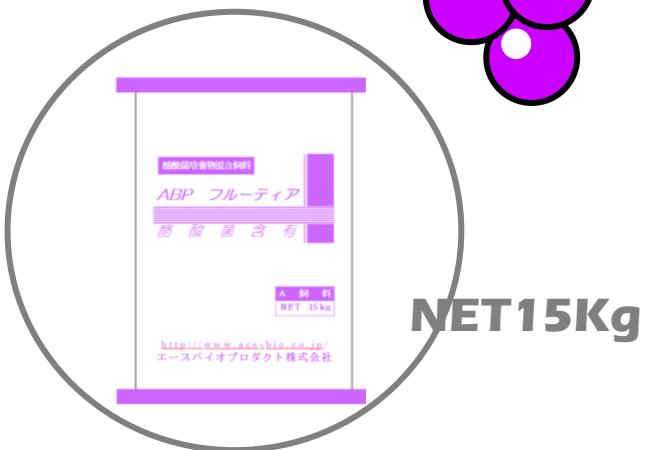
プロバイオテクスの酪酸菌と甘酸っぱいフルーティーなぶどうかすにより牛の健康と嗜好性を高めます。
より高い生産性を実現する為に本品をご活用下さい。



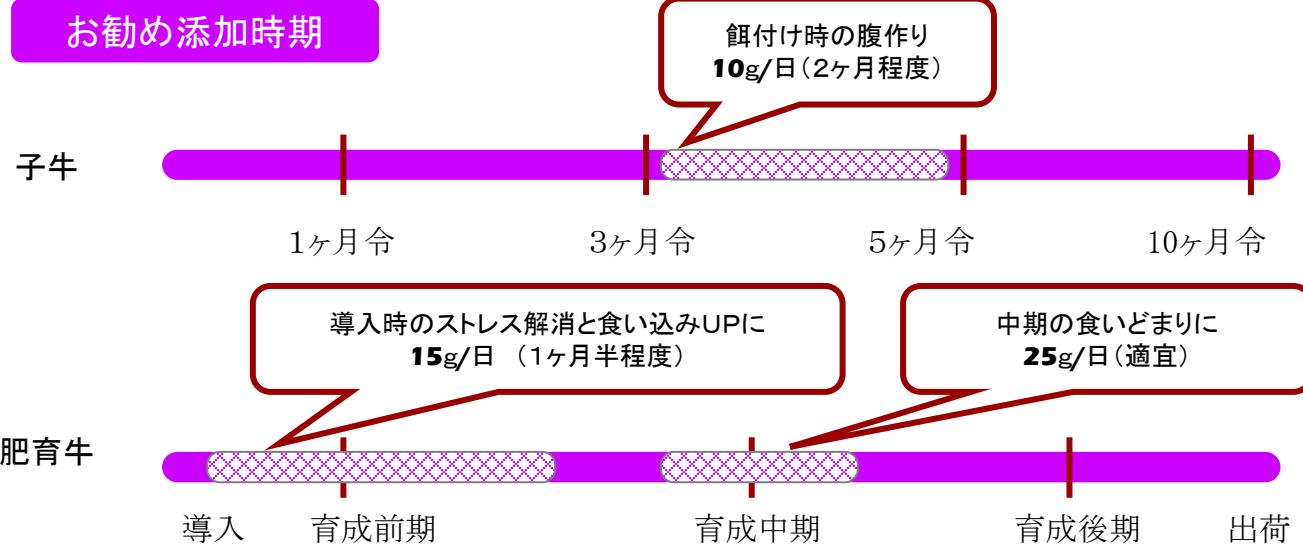
賦形内容：ぶどう酒かす・酪酸菌（3千万個/g）

こんな方にお勧め

- ・子牛の健康増進を目指している方
- ・飼料の嗜好性・食い込みを上げたい方
- ・導入の立ち上がりをコントロールしたい方



お勧め添加時期



● 使用量

1日給与量が下記量になるよう本製品を調整してお使いください。

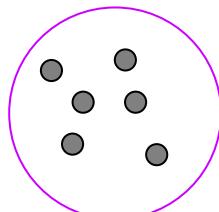
子牛: 10g～20g程度/日 肥育牛: 15g～30g程度/日 母牛: 15g～50g程度/日

酪酸菌 (*C.butyricum*) とは

1935年に土壤並びに動物の糞中より抗腐敗性細菌として発見されて以来、人・動物のフローラ細菌として今日まで活用されている嫌気性グラム陽性の芽胞細菌です。

本製品中には発育増殖の過程で酪酸・酢酸・などの短鎖脂肪酸を产生する他、ビタミンB群やビタミンC、イソマルトースなどのオリゴ糖を代謝する事ができる株を使用しております。

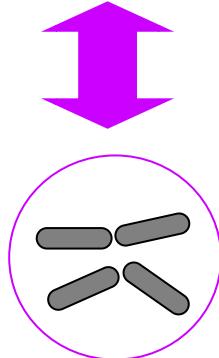
酵母菌、乳酸菌群との相性も良く、不良発酵の防止とフローラ維持に活躍する菌です。



芽胞体

植物に例えると種の状態で菌が休眠しています。この形態は熱・酸・紫外線等に非常に強く安定しています。

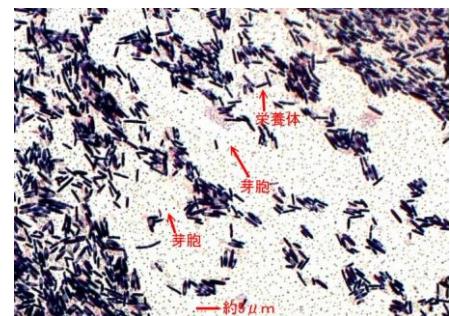
製品はこの状態でパッケージ化されています。



栄養体

温度(37°C)・栄養分・水分・pHなどの条件が整うと芽胞体から目覚め発芽します。

その際にビタミンB群やCオリゴ糖など各種有益な物質を產生しながら増殖を続けます。



[フローラとは]

胃や小腸は消化酵素を盛んに分泌しエサを分解、吸収する消化器官です。一方、大腸や牛の第1胃は様々な種類の細菌が数百兆個も棲みつき菌叢(フローラ…花畠)を形成している『発酵タンク』の役割を担っている重要な消化器官です。この菌叢をバランス良く保つ事が水分やミネラルの吸収、及び未消化飼料の分解や臭気の軽減につながります。

[大腸の役割]

水分やミネラルの吸収のほかにエネルギー源の吸収もあることが分かっています。大腸フローラの細菌が短鎖脂肪酸(VFA成分)と呼ばれる有機酸をエネルギーに置換えます。

[フローラの異常は?]

離乳時や大量の食物がおなかに入ってきた時など腸内で急に乳酸が増加し、急激なpH低下がおこった時や抗菌剤を投与した場合等に起こりがちです。

製造元:

エースバイオプロダクト株式会社

〒386-0412

長野県上田市御嶽堂675-1

電話0268-41-1771

<http://www.ace-bio.co.jp>

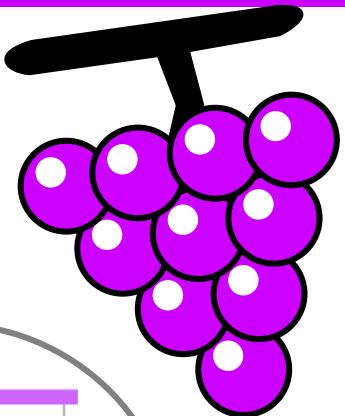
お問い合わせ先:

Ace Bio
Product

ABP フルーティア グレープ味

A 飼料

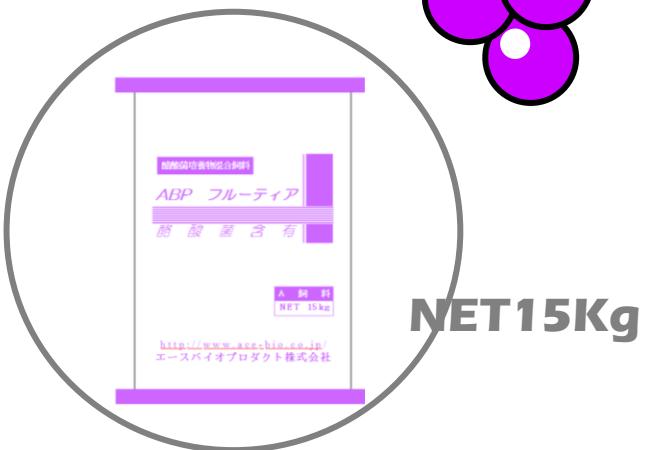
プロバイオテクスの酪酸菌と甘酸っぱいフルーティーなぶどうかすにより牛の健康と嗜好性を高めます。
より高い生産性を実現する為に本品をご活用下さい。



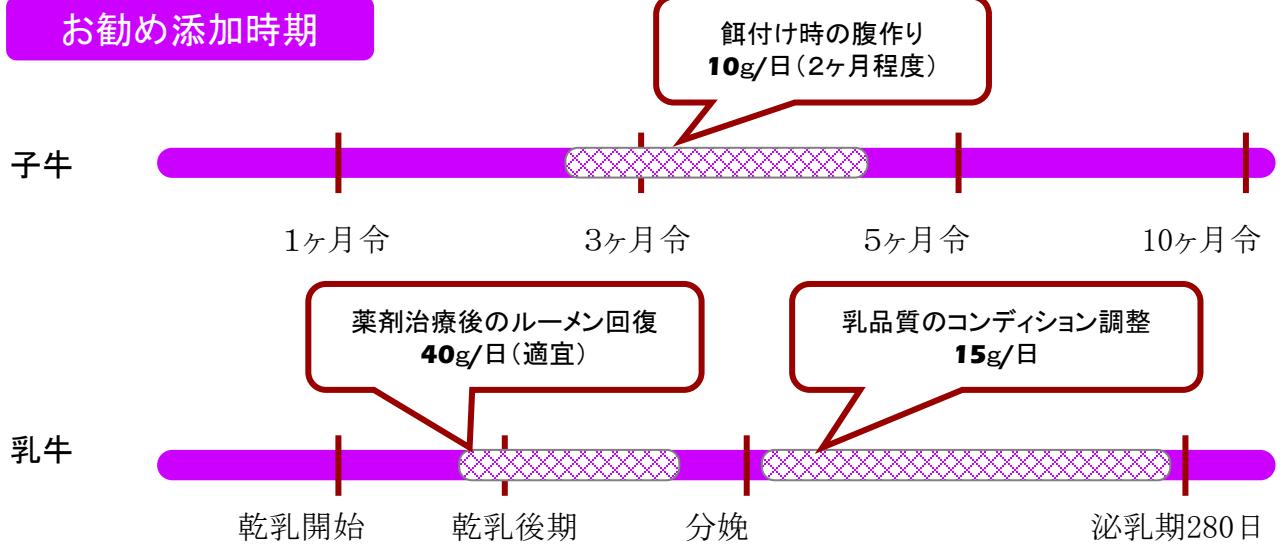
賦形内容：ぶどう酒かす・酪酸菌（3千万個/g）

こんな方にお勧め

- ・飼料の嗜好性・食い込みを上げたい方
- ・乳品質をコントロールしたい方
- ・牛の健康増進を目指している方



お勧め添加時期



● 使用量

1日給与量が下記量になるよう本製品を調整してお使いください。
子牛:10~20g程度/日 母牛:15~50g程度/日

お問い合わせ

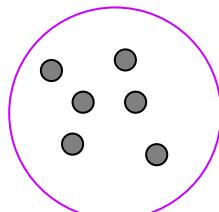
製造元:エースバイオプロダクト株式会社 〒386-0412 長野県上田市御嶽堂675-1
電話0268-41-1771 <http://www.ace-bio.co.jp>

酪酸菌 (*C.butyricum*) とは

1935年に土壤並びに動物の糞中より抗腐敗性細菌として発見されて以来、人・動物のフローラ細菌として今日まで活用されている嫌気性グラム陽性の芽胞細菌です。

本製品中には発育増殖の過程で酪酸・酢酸・などの短鎖脂肪酸を产生する他、ビタミンB群やビタミンC、イソマルトースなどのオリゴ糖を代謝する事ができる株を使用しております。

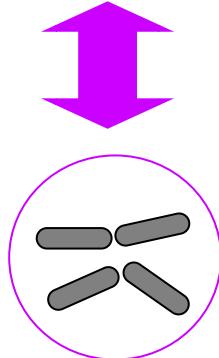
酵母菌、乳酸菌群との相性も良く、不良発酵の防止とフローラ維持に活躍する菌です。



芽胞体

植物に例えると種の状態で菌が休眠しています。この形態は熱・酸・紫外線等に非常に強く安定しています。

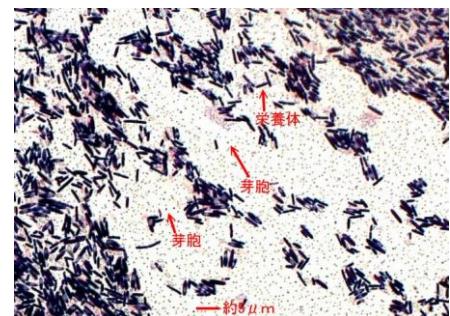
製品はこの状態でパッケージ化されています。



栄養体

温度(37°C)・栄養分・水分・pHなどの条件が整うと芽胞体から目覚め発芽します。

その際にビタミンB群やCオリゴ糖など各種有益な物質を產生しながら増殖を続けます。



[フローラとは]

胃や小腸は消化酵素を盛んに分泌しエサを分解、吸収する消化器官です。一方、大腸や牛の第1胃は様々な種類の細菌が数百兆個も棲みつき菌叢(フローラ…花畠)を形成している『発酵タンク』の役割を担っている重要な消化器官です。この菌叢をバランス良く保つ事が水分やミネラルの吸収、及び未消化飼料の分解や臭気の軽減につながります。

[大腸の役割]

水分やミネラルの吸収のほかにエネルギー源の吸収もあることが分かっています。大腸フローラの細菌が短鎖脂肪酸(VFA成分)と呼ばれる有機酸をエネルギーに置換えます。

[フローラの異常は?]

離乳時や大量の食物がおなかに入ってきた時など腸内で急に乳酸が増加し、急激なpH低下がおこった時や抗菌剤を投与した場合等に起こりがちです。

製造元:

エースバイオプロダクト株式会社

〒386-0412

長野県上田市御嶽堂675-1

電話0268-41-1771

<http://www.ace-bio.co.jp>

お問い合わせ先:

Ace Bio
Product